



一通り治療が終わったので、もう安心ですよ!

A 定期的に肝臓の状態を診ていくことが不可欠です。

● 治療が終われば「完治した」と思っている?

C型肝炎は、飲み薬の治療を約2~3ヶ月間続けることで、高い確率で肝炎ウイルスを消せるようになりました。またB型肝炎は飲み薬の治療で血液中のウイルスを押さえ込んで、肝炎を鎮めることができます。しかし、肝硬変や肝がんのリスクはすぐに「ゼロ」になりません。またウイルスが検出されなくなっても、傷んだ肝臓が元通りのきれいな肝臓に戻るには時間がかかるので、その間は肝がんの発症リスクは残ってしまいます。

治療後も、定期的に肝臓の状態を診ていくことが不可欠です。定期的に検査を受けていれば、もし異変があった場合にも、早期に治療をスタートすることが可能です。**7**、**8**でも触れたように、肝炎の治療はここ数年で大きく変化しています。一通りの治療が終わったからこそ、肝臓をよい状態に保っていきましょう。

なお、自治体によって助成金額は異なりますが、ウイルス性肝炎に対する定期検査費用の助成制度があります(カード**28**参照)。治療後の経過観察も対象ですから、この制度を利用して、必ず定期検査を受けるようにしましょう。

肝炎について(フォローアップ)

C型肝炎はHCV抗体の検査で感染しているかを検査しますが、ウイルス排除後も長期的にHCV抗体は陽性とでてしまいます。健康診断や、手術前の検査などで、C型肝炎に感染していると通知されてしまうことがあり、患者さんは再度感染したのではないかと不安になることがありますので、きちんと説明を行っておく必要があります。また、陽性と出たことによって感染を疑われる場合がありますので、検査結果通知カードや、血液検査結果の控えを持たれておくという手段もあります。検査結果通知カードに関しては、厚生労働省が実施する研究班で作成されたものもありますので、ぜひ参考にしてみてください。

私はC型肝炎ウイルスを排除しました。		
氏名		
年	月	日検査済
HBs 抗原 (+ ⊕)		
HCV 抗体 (⊕ -)		
ウイルス排除後も抗体は残ります		
施設名		
確認者名		
病院・産科医院で診察や検査を受ける際は、このカードをお見せください。		

現在の日本では、日常生活で肝炎ウイルスに再感染することはまれです。

(治療によってウイルスを排除した方は定期的なエコー検査を受けましょう。)

感染のご心配があれば、お近くの
肝炎患診連携拠点病院
相談センターへ

肝炎検査・治療サポート情報は
肝炎情報センター **検索**



厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業

「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」

研究代表者 是永匡紹先生 よりご提供

